

松本シニアネットクラブ(愛称ほっとねっと松本)
(長野県松本市)

〔概要〕

松本シニアネットクラブは「助け合いながら学び、交流を楽しみながら実践する」の趣旨のもと、2003年、松本市が「松本市IT基本戦略」に基づき、高齢者IT支援の一環としてコーディネートして誕生した。行政が調整して開設された日本初のシニアネットである。平成21年度より活動拠点（市情報創造館）が行政運営から民営委託化されたことにより、クラブ運営は自主運営となった。

パソコンやインターネット、携帯電話等の利活用講習会の開催や会員同士の親睦を深める行事の企画や信州大学との交流、市民サポートセンターのIT利用支援等を通じて地域に貢献している。

沖縄や東京など異なる地域のシニアネット団体との遠隔交流や『あがたの森』（旧制松本高校）で市民団体の活動を発表する「ぼくらの学校」では、パソコンを活用した合成写真やとびだす絵本など、多彩なデジタル作品を展示し、シニアの新しい・楽しいデジタル文化を発信している。

会員は約150名で、松本市内を7つのブロックにわけ活動している。ブロックごとに自由に運営されており、地域をこえて参加できるブログや写真の同好会もある。

会費は入会金1000円。年会費3000円。事務所は事務局長の自宅。幹部は無給のボランティア団体である

今年、10周年を機に、クラブのウェブサイトを一刷新した。無料HP作成サービス『Jimdo』を利用し、各ブロックのホームページとクラブのページとを相互にリンクして情報を共有した。ICTを活用した新しい老人クラブ・自治会組織として活動している。

〔コラム〕

「ほっとねっと」とは、学習や社会参加への「熱い(Hot)」思いと、会員の心のよりどころとなる「ほっと」できる会であってほしいという思いのこもった愛称である。

東京や仙台でも高齢者のパソコン講習会というと、『参加者が集まるだろうか?』と自治体の担当者から心配されたが、各地で定員の10倍以上の応募があった。松本市でも200名をこえる応募があり関係者を驚かせた。

パソコンやインターネットなど最新の技術や知識を知りたいという高齢者は年々増えているが、高齢者がパソコンを学べる場所は少なく、指導者も不足している。高齢者に信頼されている自治体の職員が最初の一步を支援できれば、ICTは高齢者の学習意欲や潜在的な能力を引き出し、拡張することができる。外出の機会も増え、健康になる。

結果として会員の要介護期間は短く、健康寿命の長いことがわかった。

現在の松本市の最重要政策は「健康寿命延伸都市・松本」の創造である。元気で長生きしたい、介護とは無縁でいたいと誰よりも願っているのは高齢者自身だ。高齢者の社会参加を支援し、健康寿命を伸ばす『シニアネット』は超高齢社会の最良の処方箋のひとつである。

文責 老テク研究会事務局長 近藤則子

松本シニアネットクラブのウェブサイト <http://hotnet-m.jimdo.com/>

表紙



写真同好会 <http://syasinkurabu.jimdo.com/>



第1ブロック



第3ブロック



第7ブロック



親睦旅行



(問い合わせ先) メールアドレス seniorhotnet@gmail.com

住所 長野県松本市和田 4010-27

電話番号 0263-33-6621 (中野事務局長宅)

(自治会活動等へのICTの利活用－2)

市民情報化サイト 岡山市電子町内会 (岡山県岡山市)

〔概要〕

インターネットを活用して町内会活動を行ったり、地域情報を発信したりして、地域住民同士のコミュニケーションの促進を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的として電子町内会のサイトを構築。

(平成14年度 eまちづくり交付金事業)

〔コラム〕

岡山市には現在1,723の単位町内会、小学校区単位で構成する96の連合町内会があり、加入率は世帯の約83.5% (平成24年11月末現在) と、町内会は地域づくりの母体となっています。

電子町内会とは、岡山市が提供するWebサーバーと電子町内会システムにより、町内会が自主的にホームページを作成し、地域活動やエリア情報を発信、電子町内会システムによる電子掲示板やアンケート機能を活用し会員相互の意見交換を行い、地域情報を共有することにより地域コミュニティの活性化につなげようとするものです。

平成14年3月に7つの町内会287人で始まったこの試みも、現在では72団体(単位町内会ベースでは687町内会)、会員6,308人が参加する地域ネットワークを形成しています。

最初は手探りで始まった活動も、掲載情報が充実し、不審者情報や防災情報などタイムリーな話題が掲載されています。

また、電子町内会をきっかけに世代を越えた交流や、新たな活動グループができるなど、着実にリアルコミュニティの活性化につながっています。

地域の情報発信を行うことにより、雑草倒木に埋もれていた滝を復元するボランティアができ滝をきっかけに交流が続いている例や、天然記念物の魚(アユモドキ)を町内上げて保護している例。地域の特産物マスカットの成長過程をリアルタイムで紹介している例など、地域を愛し育む活動につながっています。

各町内ホームページから発信される情報は市民のみならず遠く岡山を離れた方にも届き、いつまでも郷土岡山を身近に感じさせてくれます。

ICTの普及とともに電子町内会は全市域に広がりつつあります。事例にもあるとおり最初のご近所同士の何気ない会話から始まりやがて、市民が安心して暮らせるまちづくりの形成に向けた議論も展開しつつあります。

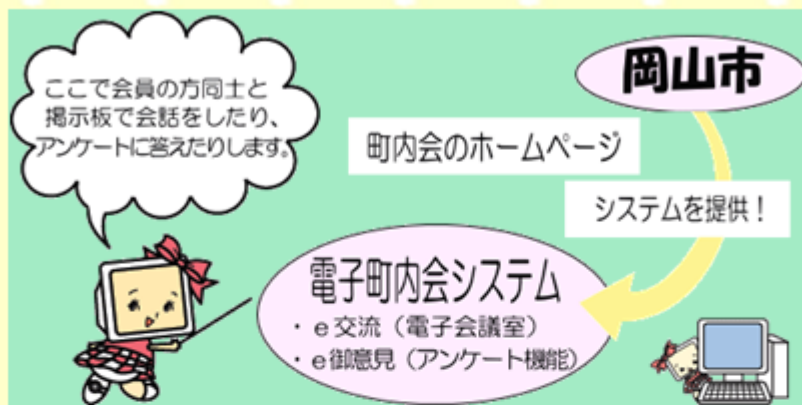
〔制作費(内公的な補助額)〕

【現システム構築】 19,199,250円

【維持経費】 システム保守 4,620,000円

システム機器等賃貸借 195,300円

電子町内会システムについて



パソコンや携帯からインターネットを使って会員同士で連絡を取り合ったり、ご近所さんとのコミュニケーションをお手伝いするシステムです。



（問い合わせ先）

岡山市 安全・安心ネットワーク推進室

TEL 086(803)1063

Eメール anzenanshin@city.okayama.jp